

くつ下や手ぶくろにまほうをかけると

～たのしいなかまに大へんしん～

校種・学年	小学校・第3学年	教科等	図画工作科
時間・学期(月)	4時間・後期(11月)	副読本	P14
準備等	教科書、集めた布の材料(靴下、手袋など)、接着剤、ボタン等		

1 ねらい

「靴下や手袋などの組み合わせ方を工夫する」ことを通して、形や色、方法や材料を工夫する力を培い、リサイクル等の意識を高める。

2 伸ばしたい資質・能力

- 材料の特徴を生かして作る力
- 形が変わることで、さらに発想を広げる力
- 材料の組み合わせで自分の好きな形を作る力
- 3Rについて意識する力

3 指導計画(全4時間)

時間	主な学習活動・内容等
3	○材料にふれ、特ちょうを感じとる。 ○集めた靴下や手袋などの布製品に新聞紙や箱などを詰めたり、ひもで結んだりして形が変わっていくことに関心をもちながら、発想を広げていく。 ○材料を組み合わせで、自分の好きな形を作っていく。
1	○友達の活動のよさや自分との違いに気づき、交流する。

4 本時の学習指導(本時 1/4)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
5	○集めた布製品の形や感じを、見たりさわったりして確かめる。	○使わなくなったり、小さくなったりしたものが、捨てずに作品として形を変えていく(リサイクル)できることに気づかせる。 ★P14「身の回りの環境マーク」 色々なマークを知り、身の回りには環境のことを考えた活動がたくさんあることを知らせる。
15	○靴下や手袋などに、綿や新聞紙、ペットボトル、箱などを詰めて、形がかわる様子確かめる。	
20	○材料に魔法をかけたように、材料を切ったり、形を変えたり、組み合わせたりしながら表したいものを工夫して作っていく。	
5	○活動を振り返る。	

5 他教科等とのつながり

- 3年生 国語「くらしと絵文字」
- 3年生 社会「はたらく人とわたしたちのくらし」

6 社会とのつながり

- 環境に配慮した紙製品(再生紙、ノート)
- スーパーマーケットの取り組み(リサイクルステーション)

7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）

- 自分が作った作品を作品展等で保護者にも公開することにより、リサイクルや環境問題について考える機会とすることで、より関心が高まる。
- 国語の学習と関連させ、身の回りのリサイクルマーク（絵文字）を集めて、その意味を調べることにより、環境に配慮した取組が多いことに気づかせるとよい。

8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など

児童の感想

- 使わなくなった靴下や手袋が色々なものに変身するんだなあと思った。
- 自分が思いつかなかったものを友達が作っていて、まねをしてみようと思った。
- 環境マークをこれからも見つけていきたい。

9 研究協議の内容

- 一時期は物をどんどん消費して廃棄していく風潮であったが、近年はリサイクル等エコに関心が寄せられるようになってきた。無駄をなくし、物を大切にすることを子供たちも伝えていくことが大切であると感じた。それが地球環境を少しでも改善することになるので、今後も継続したい。
- 地球温暖化を止めることのできる活動は、児童の身の回りにはまだまだあるので、意識させていくことが大切である。